佐藤井岐雄氏採集多足類標品概報[1)2)]

高 桑 良 興

（東京文理科大學動物學教室）

廣島文理科大學佐藤井岐雄氏は近年數次に亙り隱岐群島・四國石槌山・佐渡島等に動物採集旅行[3)]を試み其の際採取せられし多足類關係の標品は擧げて之を予の自由檢討に委ねられたり。茲に同氏の採集の勞と予に提供せられし御厚志とに多大の敬意と謝意とを表明するものなり。今回の標品彙は大別するに蜈蚣類•馬陸類•結閥類の三者にして結閥類に屬するものは高島學士にお渡しせり。予の日本產多足類調査は今尙進行の途上にあり，折角御提供ありたる貴重標品を十分活用し得ざるは衷心より遺憾とすれども一先づ標品を佐藤氏にお返しするに當り屬種一覽を作り氏の御厚志に酬い且つ自他の便に供せんとす。覽る人粗笨の咎め無くんば幸なり。

唇 脚 類 CHILOPODA

チムカデ目 Geophilomorpha

Mecistocephalidae ナガヅチムカデ科

1 *Prolamnonyx holstii* (Pocock, 1895) ツメチムカデ

20. VIII. 1940 島後大滿寺山[4)]

Geophilidae ツチムカデ科

2 *Scolioplanes maritimus japonicus* Verhoeff, 1935 ヤマトスコリチムカデ

24. III. 1940 島前西ノ島黑木村美田, 27. III. 1940 島後五箇村小路

オホムカデ目 Scolopendromorpha

Scolopendridae オホムカデ科

3 *Scolopendra subspinipes japonica* L. Koch, 1878 アヲヅムカデ

17. VIII. 1940 隱岐最北端沖ノ島

---

1) 「中國•四國•瀨戶內海に於ける動物の研究及び調査」報告，第15號.

2) 隱岐群島の動物相調査，其九.

3) 此の旅行は佐藤氏の文部省自然科學研究費による調査研究の一部を成すものなり。

4) 隱岐群島と一々斷らず單に島前或は島後と記す。

4 *S. subspinipes mutilans* L. Koch, 1878 トビヅムカデ

29. V. 1940 佐渡島佐渡郡相川町, 18. VIII. 1940 島後中村向ヒ山

Cryptopidae メナシムカデ科

5 *Otocryptops rubiginosus* (L. Koch, 1878) セスヂアカムカデ

10. X. 1937 廣島市郊外, 2. X. 1939 石槌山, 2. VIII. 1940 島前中ノ島, 17. VIII. 1940 島後眞谷, 20. VIII. 1940 島後大満寺山

6 *O. sexspinosus* (Say, 1821) アカムカデ

2. X. 1939 石槌山, 26. III. 1940 島後大満寺山, 27. III. 1940 島後五箇村小路, 17. VIII. 1940 島後東谷

イシムカデ目 Lithobiomorpha

Lithobiidae イシムカデ科

7 *Bothropolys asperatus* (L. Koch, 1878) イツスジムカデ

2. X. 1939 石槌山, 21. XII. 1939 島後大満寺山 24. III. 1940 島前西ノ島黒木村美田, 19. VIII. 1940 島後眞谷 島後横尾山, 21. VIII. 1940 島前中ノ島, 23. VIII. 1940 島前知夫里島

8 *Esastigmatobius japonicus* Silvestri, 1909 ゲジムカデ

1. X. 1939 愛媛縣久万町, 25. V. 1940 佐渡金北山, 27. III. 1940 島後五箇村小路, 16. VIII. 1940 島後藍屋谷, 17. VIII. 1940 島後東谷, 19. VIII. 1940 島後横尾山壇鏡瀧, 20. VIII. 1940 島後大満寺山

9 *E. longicornis* Takakuwa, 1939 オホゲジムカデ

ラベル無く隠岐 ?

10 *E. longitarsus* Verhoeff, 1934 ナガゲジムカデ

17. VIII. 1940 島後東谷

11 *Lithobius* sp. イシムカデ一種

25. V. 1940 佐渡金北山

12 *Monotarsobius takakuwai* Verhoeff, 1937 タカヒトフシムカデ

17. VIII. 1940 島後眞谷

ゲジ目 Scutigeromorpha

Scutigeridae ゲジ科

13 *Thereuonema hilgendorfi* Verhoeff, 1909 ゲジ

21. VI. 1938 廣島市外牛田 12. VII. 1938 廣島市外三瀧山, 25. V. 1940 佐渡金北山, 21. VI I. 1940 島前焼火山

以上は何れも普通の種と云ふを得べし。

倍 脚 類 DIPLOPODA

タマヤスデ目 Glomeromorpha

Glomeridae タマヤスデ科

1 *Hyleoglomeris* sp. タマヤスデ一種

20. VIII. 1940 島後

オビヤスデ目 Polydesmomorpha

Polydesmidae オビヤスデ科

2 *Epanerchodus* sp. オビヤスデ一種

6. IX. 1936 廣島縣豐田郡用倉山, 1. X. 1939 愛媛縣久万町, 28. V. 1940 佐渡島佐渡郡加茂村

Strongylosomatidae アカヤスデ科

3 *Nedyopus* sp. アカヤスデ一種

26. V. 1940 佐渡金北山

4 *Orthomorpha gracilis* (C. L. Koch, 1847) ヤケヤスデ ?

2. VI. 1938 廣島市外牛田, 27. III. 1940 島後五箇村小路 (幼)

5 Gen. et sp. indet.

2. VI. 1938 廣島市外牛田　予にとりては珍品にして精檢の上詳報せんとす。

Leptodesmidae ババヤスデ科

6 *Japonaria* sp. ババヤスデ一種

6. IX. 1936 廣島縣豐田郡用倉山, 2. X. 1939 石槌山, 19. VIII. 1940 島後横尾山

7 *J.* n. sp. ババヤスデ一種

6. IX. 1936 廣島縣河内町, 13. VIII. 1940 廣島縣三段峽

8 *J. acutidens* (Attems, 1909) ニクイロババヤスデ

6. IX. 1936 廣島縣豐田郡用倉山

ヒメヤスデ目 Julimorpha

Paraiulidae ホタルヤスデ科

9 *Karteroiulus niger* Attems, 1909 クロヒメヤスデ　ならんと想はるゝも標品は1♀なれば不安あり　2. X. 1939 石槌山

10 *Skleroprotopus inferus* Verhoeff, 1939 リユウガヤスデ

7. I. 1940 島前西ノ島

11 *S. okiensis* Takakuwa, 1940 オキリユウガヤスデ (高島氏新稱)

21. XII. 1939 島後大滿寺山 (♂), 26. III. 1940 大滿寺山 (♀)

12 *S. simplex* Takakuwa, 1940 イシヅチリユウガヤスデ（高島氏新稱）
2. X. 1939 石槌山
Julidae ヒメヤスデ科
13 *Fusiulus* sp. フジヤスデ一種
25. III. 1940 島前西ノ島燒火山（♀1頭のみにして確定致し難し）
14 *F. quadratus* Takakuwa, 1941 ミホトケフジヤスデ（新稱）
26. III. 1940 島後大滿寺山
15 *F. simplex* Verhoeff, 1936 フエルヘフフジヤスデ（新稱）
24. III. 1940 島前西ノ島黑木村美田

Julimorpha は予の目下最も關心を挪ひ居る馬陸なるを以て先づ此の類のみを精査したるが得る所多かりしを佐藤氏に謝せざるべからず。*Skleroprotopus*（リユウガヤスデ屬）は始め支那產の種につき設定せられ，本邦よりは最初土佐龍河洞產の記載せられしを手始めに內地のあちこちより採集せらるゝに至れり。今回隱岐西ノ島產の標品により隱岐にも分布することを知り尙同島產の他の標品より *S. okiensis*[5] なる1新種を設くるの必要に迫られたり。又四國石槌山產の標品より更に1新種 *S. simplex*[6] を設定せり。此の二者は今回の標品彙中最も予を悅ばしめたるや勿論なり。前者は所檢標品2♂♂2♀♀1幼生にして模式標品として予が1♂（holotype）1♀（allotype）を頂戴し東京文理大動物學教室に保存す。他の1♂1幼（paratype）は佐藤氏にお返しせり。後者は2♂♂1♀にして1♂（paratype）をお返し1♂（holotype）1♀（allotype）は模式標品として東京文理大動物學教室に保存す。今や *Skleroprotopus* は8種を包有し北支に1種，朝鮮に1種の他は悉く本州（及び其の屬島）・四國の產なり。現狀に於ては此の屬は東亞特產の馬陸の1例たり。*Fusiulus quadratus*[7] は横濱產及び伊豆新島產に基き最近記載を公にせるばかりなり。隱岐產標品中に本種と同定すべきものを見出したるは愉快なり。横濱にては豐顯（ぶけん）寺內にて採りたれば之も阿彌陀如來の御導きとミホトケフジヤスデの和名を用ふることゝせり。此の寺にて嘗て一外人デムカデの仲間を採集しアテムス氏の許に送り學界に寄與せることあり。それによりて予は此の寺院を知りデムカデを求めて得ず却てフジヤスデの稀品を得たるも妙なり。*F. simplex* の和名は種の設定者た

---

5) 6) 日本動物學彙報 vol. xix, no. 4 (1940)
7) 札幌博物學會報 vol. xvi, pt. 4 (1941)

る獨のフエルヘフ博士に敬意を表したるに過ぎず。*Japonaria* n. sp. はババヤスデの一種にして當初 *J. marmorata* (Verhoeff, 1937) ならんかと想ひしも精査の末生殖肢に差異を見出し恐らくは1新種を構成するものと想へり。他日別報文を以て詳報せん。

結 閥 類 SYMPHYLA

結閥目 Symphyla

Scutigerellidae ナミコムカデ科

1 *Hanseniella* (*Hanseniella*) sp. ナミコムカデ

2. X. 1939 石槌山, 20. VIII. 1940 島後大滿寺山

結閥類は4頭のみにて高島氏に據れば何れも上掲の種なり。右に關し高島氏曰く「四國に Symphyla の產することは夙に知れ居れるも (1923年2月高知縣宿毛にて岸田久吉氏採) 予自身檢せるは京都帝大吉井良三氏 (目下在獨) の採集寄贈せられし劍山產 (17. X. 1937 採) の4頭のみにしてそは今回の石槌山產と同種なり。隱岐產は予には始めてなるも種類は同じ。他に四國產としては青柳兵司氏より氏が香川縣大川郡白鳥本町にて採集 (28. VI. 1939) せられし1頭を寄贈を受けたることありしが, 當時既に乾燥し居りし爲檢鏡中に損壞し了りたるは殘念なり。殊に此の個體は檢鏡中 *Hanseniella* にあらで *Scutigerella* ならずやとの疑義を生じたる丈にいと口惜しく思はる」云々。(2月21日)

伊 豆 下 田 の 蜘 蛛 追 加

伊豆下田の蜘蛛は昨年「伊豆下田の蜘蛛一覽」なる一稿に纒め19科119種を列擧して置いた。昨年3月26～29日第15回目の下田採集行をして其の際蜘蛛は17種程採つた。斯様な早春に下田に赴いたのは此の時が始めてゞある。新に下田の蜘蛛として算へらるべきものはコガネグモ科のオニグモモドキ *Stearodea abrupta* (Karsch, 1879) カニグモ科のヤブエビグモ *Philodromus bambusanus* Kishida の2種で他にオホヒメグモ, シロガネキサフラフグモ, アカムネグモ一種, コガネグモ, イヘオニグモ, ヤマシロオニグモ, キジロゴミグモ, コツデゴミグモ, ヤサガタアシナガグモ, アシナガグモ, コシロガネグモ, ヤミイロカニグモ, エビグモ一種, ハヘトリグモ, アシダカグモ等が採れた。7月17～24日, 一旦東京に歸つて7月26日～8月1日と第16回及び第17回の下田行をした。其の間に獲た蜘蛛は次の24種程である。採集に御助力下さつた下田臨海實驗所職員中島雅男氏